

## 第2回海外ツアー

11月24日～28日、総勢17名でバンコク・アユタヤの旅に出発しました。楽しかった旅の様子については大原進さんが書いてくださいました(18ページ)。ぜひご覧ください。

現地での懇親会では、安永バンコク支部長をはじめ、とくにタイ語科OBの吉川氏、指宿氏、伊藤氏にはたいへんお世話になりました。おかげさまで今回も海外ツアーを大成功に終わることができました。お礼申し上げます。懇親パーティー参加者(敬称略)

〈バンコク外語会〉原田武(C31)夫妻、安永信行(Im31)夫妻、吉川和夫(T32)、草野靖夫(T39)、蓮子岩夫(E39)・康子(E40)夫妻、山滝隆生(T40)、指宿順(T42)、松枝文夫(T42)、荒川昭四(T43)、藤森康雄(T46)、小沢克巳(Im47)、加納登(C48)、加賀谷勇悦(T50)、武井幸男(F50)、吉岡三隆(D51)、山下潤思(C53)、小川明(Im55)、池原和正(T57)、伊藤周一(T60)・公子(E63)夫妻、藺田操(Im平1)、多川具樹(F平2)、立石直子(T平3)、佐藤祥子(T平6)、吉原祥子(T平6)、高杉美和(T平6)、平田万由里(T平8)、松岡敬三(C在校生)

〈大阪外語会バンコク支部〉5名参加

〈ツアー参加者〉大原進(E29)夫妻、江上茂(E31)、石原隆良(D31)夫妻、高橋康敏(Ic32)、上野五郎(S33)・栄子(Po33)夫妻、相馬寿美乃(F39)親子、鈴木公子(F40)、竹崎紀子(E40)、中川まちこ(E41)、笠井治子(V43)、志田道子(V47)、磯田良一(大阪外語Im30)親子(委員長 笠井治子)

## 外語会海外ツアー

### 「バンコク・アユタヤ」の巻

大原 進 (E29)

衝動買いならぬ衝動旅行。会報10月号で文化委員会の第2回「外語会海外ツアー」参加者募集のお知らせをみて、日程がズバリわが予定の空白にあたっていたので、その場で笠井治子委員長(Ic43)に申し込んでしまった。バンコクには35年前、現役新聞記者時代に国連招待で二週間滞在したことはあっても、研修と取材以外に特に記憶に残ることはない。海外旅行は数知れずだが、ほとんどすべて仕事がらみ、団体旅

行も自分が世話役か幹事役、一度はオンブにダッコの観光旅行をしてみたいというユメが会報のおかげで実現することになった。

成田に集合した面々、旧知の人も初めての人も「外語」だから緊張感がない。夫妻いっしょの退役熟年(?)が当方を含めて3組、娘さん帯同が2組、あとは熟年、中堅、若手の単独が7人、計17名で女性が11名という構成だった。昼出発の夜到着、名物の渋滞もなく予定通りバンコク市内で夕食、ホテルに入ると折から夏祭り(?)の花火とメナム川の灯籠流しを眼下に眺めて幸先よし。翌日からの3泊5日の日程は広告、いやお知らせ通りの観光さんまい。日中35度の炎熱ものともせず、王宮、エメラルド寺院、そしてアユタヤ遺跡とめぐらうちに一行の親睦は深まるばかり。一行のなかにタイ駐在15年の高橋康敏氏(Ic32)がいろいろな解説してくれるのも外語会だからこそ。

だが、この「親睦」旅行の目玉は二日目(11月25日)夜の外語会バンコク支部との懇親会。現地の会員がこんなにいるとはタイ語卒を主力とするだけあってさすが外語、36人も集まった。笠井さんの司会で始まった立食会では、わが方から団長の石原隆良(D31)、ついで江上茂(E31)、上野五郎(S33)の各氏ら長老(?)や女性元気組があいさつしたが、特筆すべきは大阪外語の磯田良一東京支部長。実はこの旅行に娘さんと参加していたおかげで、バンコク側も大阪の同窓が合流、親睦会はさらに盛り上がったのである。

私めはちゃっかり取材もした。折からクリン

トンが米大統領としては3人目、ニクソン以来27年振りにバンコクを訪れていたからだ。単なる観光旅行ではないなどというつもりはないが、クリントン初当選の話をニューヨークで本に書いた元記者はこの偶然に胸が騒いだ。そして無事帰国、といえはすべてハッピーなのだが…。帰りの飛行機(ユナイテッド)は羽田に不時着(!)した。事情を書くのはそれだけでまた一巻の物語りになるので不愉快だからやめるが、とにかく6時間半も機内に閉じこめられたまま、せっかくのいい旅行もこれで全員ぐったり、年寄りはいまも後遺症に悩む始末。しかし、第2回親睦の旅はそれにもかかわらず「大成功」でした。



バンコク支部との懇親パーティー。バンコク・オリエンタルホテルのエンバシールームで。